

資料名	古文書 飯島徳蔵氏収集文書650 五人組帳 全
	
解説	<p>五人組帳とは、五人組制度の農民が守ることを、農民と村役人の双方で交わした文書です。農民が守るべき多くの事柄が書かれた前書、前書きを遵守することを誓うべき文面と村役人らの署名捺印がからなる請書、村内の五人組の署名捺印がからなる連署印の三部で構成されています。役人への提出用と村の控用があったといわれています。本資料は、1836（天保7）年につくられたもので、前書部分がとじられています。</p>
資料が生かせる教科・単元等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校社会科 小6 江戸時代（身分制）</li> <li>・中学校社会歴史的分野 近世の日本（身分制と農村の様子）</li> <li>・高等学校 日本史 近世 農村</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書館収蔵資料検索システムに「五人組帳」と入力すると、県内各地の五人組帳が出てきます。</li> </ul>
閲覧時の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複写可能。写真撮影のみ可。</li> </ul>

学校の授業での資料活用に関するお問い合わせは、県立文書館・学校等支援担当者へお問い合わせください（048-865-0112）